



2面 秋の県イベント特集!  
3面 県からのお知らせ ほか  
4面 吹き竹・なるほどとちぎ ほか  
編集・発行 栃木県広報課 令和元(2019)年10月6日発行  
〒320-8501 宇都宮市塙田1-1-20  
☎028-623-2192 FAX 028-623-2160  
栃木県のホームページ <http://www.pref.tochigi.lg.jp/>  
毎月第1日曜発行(次回は11/3発行)

## とちぎの“情景” ～県内の日本遺産～

来年の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会では、多くの外国人の来訪が見込まれます。これを絶好の機会と捉え、県では「とちぎ版文化プログラム」を策定し、本県の文化を広くアピールするとともに、その振興を図っています。そこで今回は、本県の魅力ある文化資源として、「日本遺産」に認定された三つの「ストーリー」をご紹介します。ストーリーから浮かび上がる素晴らしい“情景”に、思いを馳せてみませんか。

### 日本遺産 Japan Heritage

地域の歴史的な魅力や特色を通じて、我が国の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定するものです。ストーリーを語る上で欠かせない魅力あふれるさまざまな文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内だけでなく海外へも戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的としています。



日本遺産シンボルマーク

●詳しくは

### 近世日本の教育遺産群 —学ぶ心・礼節の本源—

我が国では、近代教育制度の導入前から、支配者層である武士のみならず、多くの庶民も読み書き・算術ができ、礼儀正しさを身に付けるなど、高い教育水準を示しました。これは、藩校や郷学、私塾など、さまざまな階層を対象とした学校の普及による影響が大きく、明治維新以降のいち早い近代化の原動力となりました。そして現代においても、学問・教育に力を入れ、礼節を重んじる日本人の国民性として受け継がれています。

「足利学校」の教えは、儒学を中心としながらも、易学・兵学・医学など多岐にわたったことから、多くの学徒が集まりました。自由で開放的な学びと自学自習の精神は、近世の学校の原点といえます。

- ◆平成27年度認定
- ◆所在自治体: 足利市、水戸市(茨城県)、備前市(岡山県)、日田市(大分県)
- ◆足利市内の構成文化財: 史跡足利学校跡(聖廟および付属建物を含む)、国宝漢籍「礼記正義」「尚書正義」「文選」「周易注疏」、釋奠



史跡足利学校跡



学校門

### 地下迷宮の秘密を探る旅～大谷石文化が息づくまち宇都宮～

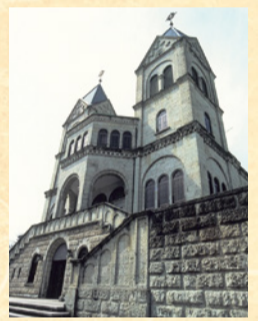
冷気が張りつめるこの空間は一体、どこまで続いていくのでしょうか。壁がせり立つ巨大な空間には、柱が整然と並び、ともされた明かりと柱の影が幾重にも続きます。柱と柱の間を曲がると、同じ光景がまた眼前に広がり、次第に方向感覚が失われていきます。

江戸時代に始まった大谷石採掘は、最盛期に年間89万トンを出荷する日本屈指の採石産業として発展し、地下に巨大な迷宮を産み出していきました。

大谷石の産地・宇都宮では、石を「ほる」文化、掘り出された石を变幻自在に使いこなす文化が連綿と受け継がれ、この地を訪れる人々を魅了しています。



カネイリヤマ採石場跡地(大谷資料館)



カトリック松が峰教会

- ◆平成30年度認定
- ◆所在自治体: 宇都宮市
- ◆構成文化財: カネイリヤマ採石場跡地(大谷資料館)、大谷の奇岩群(御止山・越路岩)、大谷磨崖仏、カトリック松が峰教会、旧篠原家住宅 など

※写真提供: いずれも宇都宮観光コンベンション協会

### 明治貴族が描いた未来～那須野が原開拓浪漫譚～

日本最大級の扇状地「那須野が原」は、140年前まで人の住めない荒野が広がっていました。明治政府の中枢にあった貴族階級は、この地に私財を投じ大規模農場の経営に乗り出します。

“近代国家建設の情熱”と“西欧貴族への憧れ”を胸に、荒野の開拓に挑んだ貴族たちの遺志は長い闘いを経て、那須連山を背景に広がる豊饒の大地に結実しました。

那須野が原に今も残る華族農場の別荘を訪ねると、近代日本黎明期の熱気とそれをけん引した明治貴族たちの足跡を垣間見ることができます。



旧青木家那須別邸

- ◆平成30年度認定
- ◆所在自治体: 那須塩原市、大田原市、矢板市、那須町
- ◆構成文化財: 旧青木家那須別邸(那須塩原市)、松方別邸(那須塩原市)、山縣有朋記念館(矢板市)、矢板武旧宅(矢板市)、山田農場事務所跡(那須町)、西郷神社(大田原市) など



松方別邸

### とちぎ版文化プログラムとは

平成29年に策定した「とちぎ版文化プログラム」は、県民の皆さんに文化を通じた東京2020大会への参加を促すとともに、とちぎの魅力ある文化を国内外に発信し、文化の底上げと地域の活性化につなげていくための指針です。

このプログラムでは、「文化資源の磨き上げ」「文化情報の戦略的発信」「文化の担い手の育成」の三つの方向性を掲げています。県が率先して取り組む“リーディングプロジェクト事業”では、年度ごとに設定したテーマに沿ったイベントを行うなど、さまざまな取り組みを行っています。

今年度の統一テーマは「情景」。昭和や明治の時代にスポットを当て、「ふるさととちぎの心情風景」を再認識するイベントを行うなど、「とちぎの文化」を生かしたさまざまな事業を実施しています。



平成29年10月、美しく迫力ある映像が昭和館に映し出された「プロジェクションマッピング」

#### 明治の情景～未来へつなぐ“とちぎの記憶”～

日時 11/16(土) 午前11時～午後3時(予定)

場所 旧青木家那須別邸(道の駅「明治の森・黒磯」内)

●那須野が原開拓をテーマとしたステージイベント(リレートーク、クラシックコンサート、グルメコーナーなど) ●当日直接会場へ

問 県民文化課 ☎028-623-2153

各イベントについて詳しくは問い合わせを

#### とちぎ文化フェスティバル2020

～栃木県総合文化センターリニューアルオープン記念公演～

Vol.1 とちぎで生まれたオーケストラ大集合!

期日 R2/3/29(日) 場所 同センター(宇都宮市)

●県内で活躍するアマチュアオーケストラ複数団体による演奏会

Vol.2 劇場で味わう♡と・ち・ぎ～音楽絵巻風～

期日 R2/3/30(月) 場所 同センター(宇都宮市)

●本県出身声優アーティストによる音楽絵巻風朗読劇

問 とちぎ未来づくり財団文化振興課 ☎028-643-1010

